

第3回奈良県文化振興戦略懇話会開催概要

- 1 開催日時：令和3年10月21日（木）15：30～17：00
- 2 会場：ホテル リガーレ春日野 吉野の間
- 3 テーマ：奈良公園における文化の展示力の向上について
- 4 出席者：青柳委員、井上委員、上野委員、藪内委員、荒井知事
- 5 議事概要

懇話会は非公開で開催。

委員からの主な意見は以下とおり。

【主な意見】

- ・ 現状では、奈良公園全体の説明ができていない。奈良公園のアイデンティティの柱を絞り、説明する必要がある。
- ・ 教科書では学ぶことができないようなガイドができると良い。
- ・ 修学旅行生に、継続的に興味を持ってもらうように、例えば体験型の仕掛けができないか。
- ・ 奈良には藤原氏ゆかりの地がたくさんあるので、奈良に「藤原氏」のイメージを定着させるのはどうか。また、大仏をキーワードにすると行基なども考えられる。
- ・ 公園内のあちこちにある小さなエピソードを集積することが重要。
- ・ 街歩きでマイルを貯められるなど、歩きながら歴史を知ることができる仕掛けを作れると良いのでは。
- ・ 奈良公園内の各施設が有機的につながりながら、文化資源の持つ潜在能力を生かしていくことが重要。
- ・ 奈良公園は文化の多様性の象徴。面白さを追求することは重要。
- ・ 春日山原始林は、日本で一番照葉樹林帯が残っている場所。奈良公園の歴史は、弥生・縄文までさかのぼることができる。
- ・ 「長崎さるく」は、ストーリーを創って地域の周遊活性化に成功した好事例。
- ・ ストーリーの主人公を聖武天皇と光明皇后にすると、奈良公園一帯の歴史が概ね説明できる。中国やペルシャまで話を広げることできる。
- ・ 奈良公園は平城京の外京であったことを説明すべき。奈良公園だけでなく、より広いつながりをもってストーリーを検討すべきではないか。
- ・ 二月堂からは奈良を見渡すことができ、生駒山まで見える。その先に河内があり、瀬戸内海、太宰府を経て、朝鮮・中国と、シルクロードをたどることができる。

以上